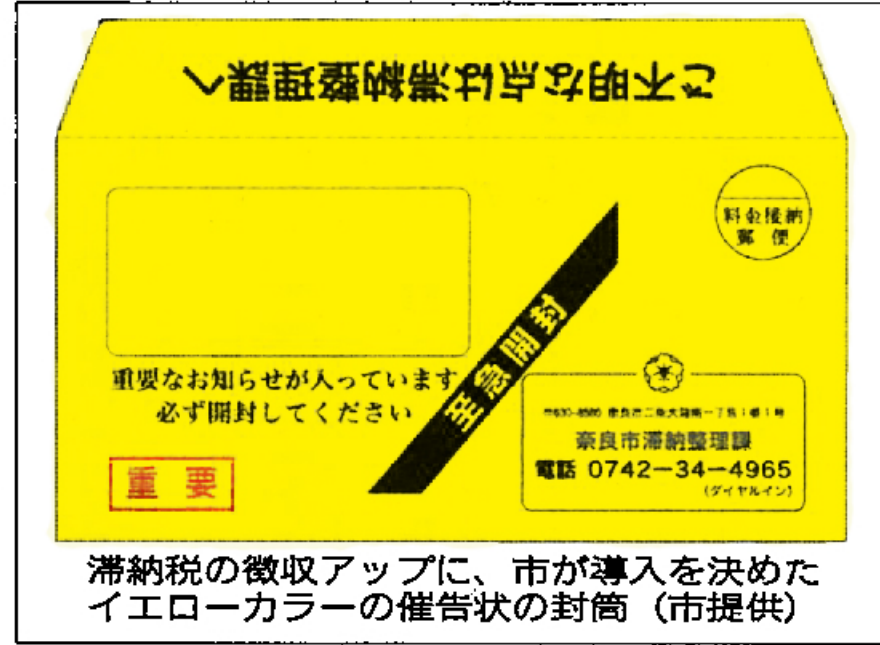


「目を引く作戦」で 滞納税徴収を強化

奈良市 催告状、黄色い封筒で



市滞納整理課長」と期待。今月末からまず400件の発送を予定している。

滞納税の徴収率アップに向け、奈良市が本年度から催告状を送付する際に使う封筒をイエローカラーに一新する。「納税者の目を引くことで、税の納付につながれば」（池本剛



同様の取り組みは既に県が実施している。従来の白い封筒では他の郵便物に紛れやすいため、**県税事務所**の勤務経験がある**三橋和史**市議(日本維新の会)が今年2月の市議会総務委員会**で採用を提案**。市も「封筒を目立たせることで一定の効果は期待できる」と前向きな姿勢を示していた。

市滞納整理課によると、催告状は市民税や固定資産税、軽自動車税など市税の年度を超えた滞納繰越に対し発送する。奈良市は本年度も徴収指導員、滞納徴収員合わせて7人の態勢を組むなど、滞納

税の徴収強化に努めており、26年度に約32億7000万円あった滞納税が28年度以降は17億円程度に減少。市はこの流れを催告状を工夫することで加速させたい考えた。

封筒には「至急開封」と書かれ、今月末に滞納金額5万〜7万円程度の400件にまず発送。6月末には同7万〜10万円程度の400件、7月末には10万〜20万円の700件と段階的に発送作業を進める予定。